

第34回 愛知川農業水利研究集会開催報告

平成31年2月9日(土) 13:30から 「第34回 愛知川農業水利研究集会」 を八日市アピアホールで開催いたしました。

この愛知川農業水利研究集会は昭和56年度に第1回目を開催し、以降、農業水利についてより理解を深めるため、定期的を開催しております。

本年も、愛知川沿岸土地改良区の役職員・総代をはじめ、管内土地改良関係団体関係者、国・県・市町の関係職員・議員の皆様、地域認定農業団体・農業組合長や自治会長、さらには国県営事業に関係する民間企業の皆様など、多方面から総勢約280名の御参加を賜り、非常に有意義な農業水利研究集会になったと感じております。

さて、今日では農業形態の変化により、農村に求められる役割が変化しつつあります。その中で、土地改良法の改正もあり、農村をどのように守り、地域の為にどのように活用するのか。また、農村地域をどのように振興していくのかという点について、それぞれ御講演を賜りました。

まず、農林水産省 室本農村振興局長には「平成の農村振興政策と土地改良」について。つづく 近畿大学農学部 大石准教授には「農業農村の有する多様な役割」について。最後に、京のふるさと産品協会 小田理事長には「京都府の取組事例の紹介」について、皆様にご講演頂きました。内容も非常に分かり易くご講演頂き、有益な時間であったように感じます。

講師の皆様



講演中

主催者挨拶

